

農林水産大臣賞

たか た 高田村づくり委員会（鹿児島県南九州市）
みなみきゅうしゅう

農村を持続させる体制づくりと、地域資源を生かした住みよい環境づくりで「人が人を呼ぶ」新たな循環を創出。

1. 地区の概要

南九州市川辺町高田は薩摩半島の南部に位置し、名水百選及び水の里百選にも選ばれた豊かな水を利用した水田農業や、「かわなべ牛」として商標登録されている黒毛和牛などの畜産を主体とした大規模経営が営まれている。

2. 団体の概要

高田村づくり委員会は10自治会で構成され、企画立案・調整活動を担う役員会と、7部会からなる営農推進委員会、8部会からなる生活環境推進委員会が互いに連携して各種活動を実践している。

3. 団体の取組み

- 住民の話し合いから組織化された「農事組合法人土里夢たかた^{どリーむ}」は、飼料作物の農作業受託や乳用牛の育成事業など、地域と一体となって経営の多角化に取り組んでいる。また、スマート農業を導入した新たな営農にもチャレンジし、雇用を通じて若手後継者の育成・確保に取り組んでいる。
- 女性の役割発揮と所得向上を目指して「そば処案山子^{かかし}」を運営。地元産手打ちそば等の提供や高齢者・若者などの住民の交流の場にもなっている。
- 小学校と連携した食農教育の支援や毎月開催している「高田三世代塾」では、伝統文化等の継承活動を通じて、子どもから高齢者まで世代を超えた交流が図られている。また、都市部消費者との農業体験等の交流や小学校跡地を活用した都市農村交流活動の実施により、高田の魅力を広く情報発信し、「高田のファンづくり」を進めている。
- 閉山した「高田石切場」や「高田の命水」などの地域資源を磨き上げ、国際的イベント等の企画や観光資源として活用することで自主財源を確保。また、大学と連携し、集落の空き家の再生・復活プロジェクト活動に取り組み、地域活性化や移住・定住につなげている。



スマート農業で作業時間の省力化を図る



オーナー田による都市と住民の交流



石切場で開催された国際彫刻シンポジウム